



イギリスに 学ぶ子ども・ 若者ケアラー支援



2024.12.6 (金) 10:00~16:30

立命館大学 朱雀キャンパス 大講義室
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
(JR・地下鉄「二条駅」下車、徒歩2分)



◀申し込みは
こちらから
(先着350名/
11月15日締切)

第一部
10:00~12:30

イギリスのヤングケアラー支援、ケアラー支援の現状
~2014年の法律から10年たって~



Saul Becker
(ソウル・ベッカー)

子ども家庭領域を専門とする教授。
英国マンチェスター・メトロポリタン大学 (MMU) 健康教育学部長。
バーミンガム大学前副総長兼社会科学部長。

ヤングケアラーの研究において世界的なリーダーであり、30年間にわたって子どもや若者のケア責任に関わっている。研究責任者として56の研究賞を受賞し、570の出版物や著作を持ち、政府や政策立案者に助言している。また、ケアラズ・トラストの大使やコミュニティ・オーガナイザーとしても活動し、10本のテレビドキュメンタリーでも取り上げられた。最近では「国民のライフセーバー」としても認識されている。X(旧Twitter): @profsaulbecker

第二部
14:00~16:30

シェフィールド・ヤングケアラーズの活動



Sara Gowen
(サラ・ゴウエン)

シェフィールド・ヤングケアラーズCEO

1997年からイギリスを拠点にヤングケアラー支援を行うチャリティー団体、シェフィールド・ヤングケアラーズのCEOを務める。ケアが当事者にもたらす影響を軽減させる取り組みについて、話題提供を行う。



通訳 **長瀬 修**
(ながせ・おさむ)

障害学研究者。立命館大学生存学研究所上席研究員、インクルージョン
インターナショナル事務総長、障害学会理事、Disability & Society
編集委員

青森県出身。青年海外協力隊員(ケニア)、国連事務局障害者班職員、国連カンボジア暫定統治機構
国際投票所責任者、パレスチナ自治選挙監視員、東京大学・立命館大学教員の経歴を持つ。
『障害学への招待』(石川准と共編、1999、明石書店)等、障害学・障害者権利条約関係の著作多数。

○主催・問い合わせ

立命館大学 人間科学研究所内
子ども・若者ケアラーの声を届けよう
プロジェクト

(Young Carers Action Research Project : YCARP)
事務局

齋藤真緒・河西優・武石卓也・古谷友亮・亀山裕樹
メール: carersactionresearchproject@gmail.com

○参加費

学生、子ども・若者ケアラー
(元)当事者: 無料

一般: 半日¥1,000、1日¥1,500

※一般の方には、後日大学より振込用紙を郵送
いたします。手数料をご負担ください。

参加者都合のご返金はできかねます。

※当日、メディア取材が入る可能性があります。

後援: 立命館大学 産業社会学部

Saul Becker氏
・Sara Gowen氏
東京講演

2024年12月7日(土)

13:30~16:30

成蹊大学 6号館

〒180-8633

東京都武蔵野市吉祥寺

北町3-3-1